



— R E N —

Recycle Energy News



新規制基準への適合性審査の状況

○ 「事業変更許可」の審査

- ・ 昨年10月から12月に開催された原子力規制委員会の審査会合で、これまで審議に時間を要し、懸案となっていた「津波防護方針」の説明を一通り終えることが出来ました。
- ・ これにより、全体を取りまとめる段階に進捗しております。

○ 「設計及び工事の方法の変更の認可（設工認）」の審査終了時期について

- ・ 2018年12月に、「設工認」の審査終了を2019年度下期として全力で取り組むことを公表しました。
- ・ その後、「事業変更許可」の審査に当初の予想より時間を要する状況となったことなどから、昨年12月25日に、青森県ならびにむつ市に対して、「設工認の審査終了時期については、現時点で具体的な見通しが得られていない状況となっており、事業変更許可の審査の進捗を踏まえながら、見通しを立てていく」ことを報告しました。

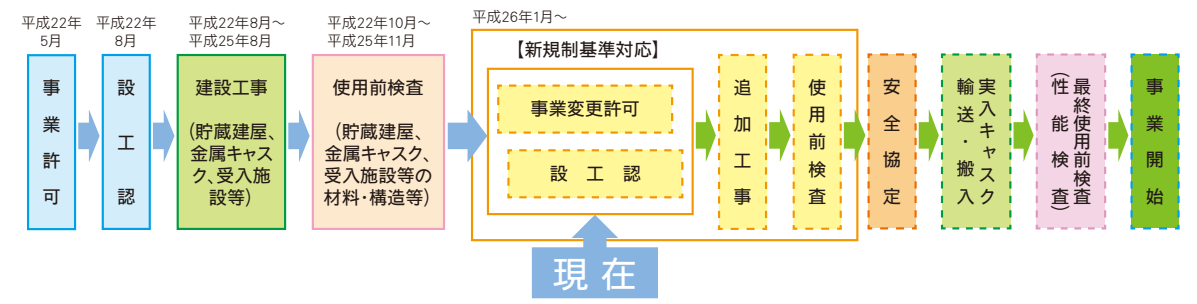
今後も、早期の事業開始を目指して、安全を第一義に全力で審査に取り組んでまいります。

【審査状況についての当社HP】

URL <http://www.rfsc.co.jp/news/news/index.html>



【事業開始までの流れ】



～RFSの現場から～

今号と次回号の二回にわたって、金属キャスク（以下、キャスク）の取扱い訓練をご紹介します。
 キャスクは、専用のトレーラーで貯蔵建屋、受入れエリアに運び込み、天井クレーンで吊り上げや立ておこしを行い、貯蔵架台に据え付けた後は、搬送台車を使って建屋内を移動し、貯蔵エリアで貯蔵します。
 今回は、模擬キャスク（形、重さが実際のキャスクと同じ）を活用し、キャスクを建屋に受入れた後に実施する横置き状態のキャスクを天井クレーンで立ておこす訓練の様子です。

横置き状態のキャスクを吊り上げ
 キャスクのフック(トラニオン)に吊り具をセットします。



キャスクの立ておこし
 天井クレーンで、ゆっくりとキャスクを立ておこします。



キャスクの吊り上げ
 垂直に立ておこしたキャスクを吊り上げ、台座である貯蔵架台に据え付けます。その後、搬送台車でキャスクを移動させます。移動訓練の様子は次回号でご紹介します。



～取り組んだ社員から～
 リサイクル燃料備蓄センターの事業開始に向け、模擬キャスクを使用した取扱いなどの訓練を行っています。
 今後も作業手順や設備などの改善を行い、安全第一で作業を行っていきたいと思います。

保全G 中島 博文

EVENT

いろいろなイベントに協賛、参加しています。



イベントについては
こちらQRコード

12/8日 第15回RFS杯ママさんバレーボール大会



優勝 むつクラブ



準優勝 東通クラブ



第3位 むつファイターズ

むつ下北の6チームに参加していただき、積み重ねた練習の成果が発揮され、むつ市大畑体育館において、大熱戦が繰り広げられました。



参加チーム 東通クラブ、大平クラブ、むつファイターズ、OM-SW、むつクラブ、TEAM FLAT

10/26日 花咲か大作戦2019秋の陣(むつ市桜満開プロジェクト)



早掛沼公園と水源池公園で施肥をしました(当社からは16人参加)。また、早掛沼公園では、元気に育つように心を込めて桜の苗木を植えました!



下北ジオパークを題材とした「2020年RFSカレンダー」を作成しました。

むつ市在住の竹本慎太郎さんに撮影のご協力をいただき、下北の魅力溢れるカレンダーとなっております。



下北ジオパーク探検記! 第5弾

(佐井ジオサイト編)



下北ジオパークHPIはこちらのQRコード



フェイスブックはこちらのQRコード



縁結びの岩として信仰されている「願掛岩」は、「男岩(写真右、海拔100mを超える)」「女岩」と呼ばれる2つの巨岩からなり、近くで見るととても迫力があります。



地質の境界である谷間に集落が形成されている福浦や牛滝などの地区は、北前船による交易が盛んに行われ、お祭りの山車や蝦夷錦などが伝承されています。



写真提供:下北ジオパーク推進協議会

上方の歌舞伎役者中村菊五郎と妻が漁師らへ伝えたといわれる「福浦歌舞伎」は、明治時代から120年以上大切に守り継がれ、青森県の無形民俗文化財に指定されています。

願掛岩周辺にはキャンプ場も整備されていて、巨岩の迫力や海水浴、きれいな夕日など、大人も子供も楽しめそうな場所だと思いました。また、漁村歌舞伎は全国的にも珍しいということで、一度実際に見てみたいです。パワースポットや伝統文化など、見所がいっぱいだなと感じました。